

こもれび

Autumn
2014

秋



手には技術
頭には知識
患者様には愛を

Koganei Rehabilitation Hospital
INFORMATION



Contents

病院長挨拶

研修報告

ドイツ研修報告／アメリカ研修報告

看護部便り

食中毒について

リハビリコラム

高齢者の歩行の特徴について

こもれびトピックス

リコーダーコンサート／関東学術研究発表会／院内旅行／特別食

医療連携室から

病院周辺のご紹介



病院長挨拶

Director greeting



一般社団法人 巨樹の会 小金井リハビリテーション病院 院長 金 隆志

一般社団法人巨樹の会小金井リハビリテーション病院は、今年の5月に開院後3回目の春を迎えました。

そこで、開院後2年を振り返り、当院の現状報告を致します。

2012年5月14日に開院し、2014年5月31日までの2年間で、新規に入院した患者総数は2,004名となり、男女比は男性887名、女性1,117名で、女性が55.7%を占めております。また、年代別集計では、男性、女性ともに80歳代が多く、特に女性では80歳代の患者様の入院が圧倒的に多い傾向にあります(平均年齢は74.4歳)(図1)。

疾患別の割合では、脳血管障害が47.5%、運動器疾患が45.5%、廃用症候群が7.0%で、脳血管障害の中で最も多いのは脳梗塞、次いで脳出血でした。運動器疾患の中では大腿近位部骨折(大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折etc)の多さが目立ち、全入院患者の約4分の1を占めました(図2)。

患者様の地域別の入院をみると、小金井市及び隣接する府中市、調布市、三鷹市など上位7市で全体の67.6%を占めました(図3)。

また、2年間に退院した患者様の在宅復帰率は87.6%であり、回復期リハビリテーション病院の全国平均72.2%(2014年全国回復期リハビリテーション病棟協会調べ)を大きく上回っています。この様に、東京都北多摩南部医療圏において、小金井リハビリテーション病院はある程度の成果を上げることが出来ました。これからも地域連携を密にし、精進していく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

図1



図2

◆ 新規入院患者 疾患別割合 (継続入院患者除く)

2012. 05. 14(開院)~2014. 05. 31

疾患	患者数	割合	詳細
脳卒中	798人	39.8%	*脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、一過性脳虚血発作
その他脳血管疾患	92人	4.6%	*急性硬膜下血腫、脳挫傷、脳腫瘍術後等
脊髄損傷	60人	3.0%	*頸髄損傷、胸髄損傷、中心性脊髄損傷、頸椎症性脊髄症等
大腿骨近位部骨折	529人	26.4%	
脊椎疾患	157人	7.8%	*脊椎圧迫骨折、腰部脊柱管狭窄症術後、腰部椎間板ヘルニア術後等
人工関節術後	106人	5.3%	*全人工股関節置換術 全人工膝(ひざ)関節置換術
その他運動器疾患	121人	6.0%	*骨盤骨折、大腿骨骨幹部骨折、大腿骨遠位部骨折、膝蓋骨骨折、2肢以上の骨折、切断等
廃用症候群	141人	7.0%	*肺炎後、外科術後、心疾患後等
合計	2,004人		

図3

地域別新規入院患者数

2012. 5. 14(開院)~2014. 5. 31

新規入院患者上位7市		その他東京都		その他			
府中市	19.7%	西東京市	3.8%	多摩市	1.4%	他県	4.7%
小金井市	11.3%	国立市	3.4%	稲城市	1.3%		
調布市	8.8%	日野市	2.7%	狛江市	0.6%		
国分寺市	7.8%	八王子市	2.5%	清瀬市	0.6%		
三鷹市	6.8%	東久留米市	1.6%	23区	8.4%		
武蔵野市	4.8%	東松山市	1.6%	その他多摩地区	1.1%		
小平市	4.8%	立川市	1.5%	島しょ部	0.9%		

ドイツ研修報告



平成26年5月22日から6月1日の期間で関東・九州のグループから医師・看護師・リハビリ・事務の13名でドイツ研修に参加させて頂きました。今回、年金機構が運営するグループ病院と当グループと同じく民間で運営しているグループ病院の見学をさせて頂きました。ドイツは国民皆保険や介護保険制度など日本と似ているとこ

ろもあり勝手に親近感を感じて行きましたが、歴史や文化、国民性が違う為、病院のシステムや関わりなど違う点が多くありました。特徴的だったことは、①患者教育に力を入れている事②質の評価を各病院でも行い、第三者機関(リハビリ協会など)からも評価される事③保険者が治療方針に関与している事④機能分化が進められている事⑤在院日数の短縮化などがありました。ドイツでは同じリハビリ病院でも疾患ごとに機能が分かれ、重症度によってランクを分け受入れの要件としており、その結果効率的なリハビリ医療の提供を行っていました。今回は普段関わる機会がないグループ内のスタッフとも行動を共にし、意見交換をする事ができ貴重な経験となりました。

この経験を今後の業務や病院運営に活かしていきたいと思います。

医療連携室係長 藤 洋介

アメリカ研修報告

平成26年6月22日から6月29日まで関連学院を含めたグループ各施設の医師、リハ役職者、事務長の計10名でアメリカ研修に参加させて頂きました。アメリカで100施設以上リハビリテーション病院を展開しているHealthSouthグループの2施設で研修させて頂き、質を向上するための様々な取り組みや患者様への教育、またスタッフの研修制度等について学ぶことができました。中でも、患者様の日常生活自立度の指標(FIM: Functional Independent measure)を1週間毎に評価し、その結果・情報を全職種スタッフがタイムリーに共有して厳しく追及していくとともに、患者様や家族にも毎回視覚的に分かるよう提示している部分が印象的でした。

今回は参加者で事前にアメリカの医療制度等の勉強会を実施し、また研修後も反省会を何度も開いた後に各施設で報告会を開催するなど、

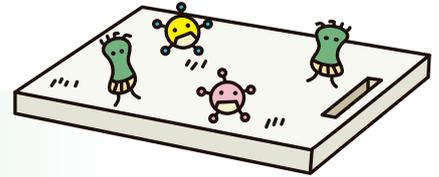


この研修を有意義にするために行った前後の取り組みも含め大変勉強になりました。今回の経験をグループや当院の運営に少しでも反映していけるよう、今後も精進していきたいと思います。

リハビリテーション科課長 鬼塚 北斗

看護部便り

食中毒について



毎年冬になるとノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒の発生が流行しています。

特に保育園や学校、福祉施設などで発生すると集団感染に繋がる恐れがあるので、注意が必要です。

汚染された食品(貝類：特にカキ、二枚貝)を充分加熱処理せずに食べた場合や、感染者が調理して汚染された食品を食べた場合に感染します。また、感染者の糞便や嘔吐物からの二次感染も起こります。

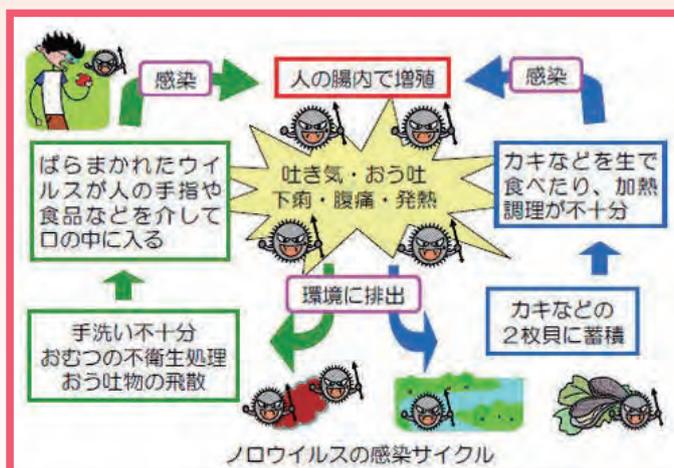
伝搬様式は糞口感染で、潜伏期間は1～2日です。主な症状は嘔気・嘔吐・下痢・腹痛で、発熱は軽度のことが多いです。

現在効果のある抗ウイルス薬はないため、対症療法(整腸剤や嘔気止めの内服)を行います。

脱水になるようなら輸液療法を行います。ノロウイルスはアルコール消毒では失活化しないため、次亜塩素酸ナトリウム(ピューラックス)での消毒が効果的です。

当院では嘔吐物・排泄物の処理方法についての感染対策マニュアルを作成しており、嘔吐物処理キットを各階に配布しています。また11月からピューラックス0.02%での環境整備にし、院内感染防止に努めます。

師走が近くなり多忙になる季節を迎えます。感染予防に努め、乗り越えましょう。



手洗い、加熱調理、塩素消毒で感染を予防しましょう!

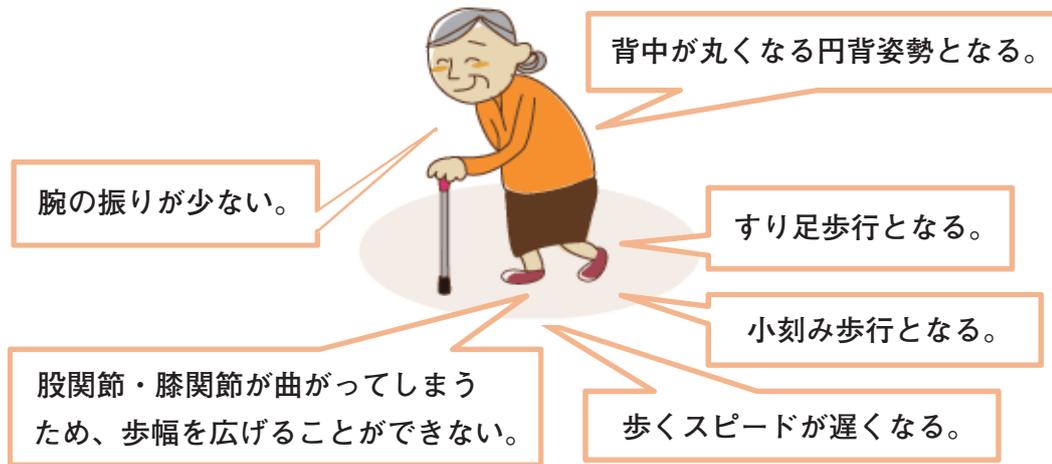
COMOREBI Vol.9

高齢者の歩行の特徴について



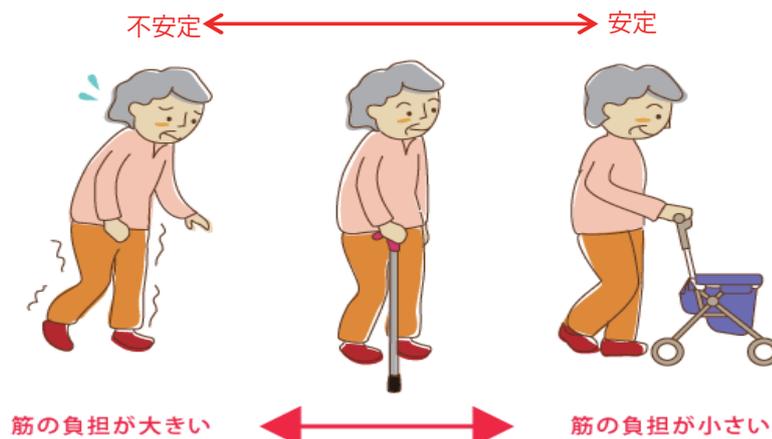
高齢者の自立した生活に欠かせないもっとも基本的な動作の一つが歩行です。年を老いても自分の力で移動することが、寝たきりや閉じこもりの防止に有効と考えられています。また、歩行のような運動をする機会を増やすことが、高齢者の死亡率低下につながると報告されています。今回は高齢者の歩行の特徴と杖・シルバーカーの高さ調節のポイントについてお伝え致します。

高齢者の歩行の特徴



上記のため、歩行の安定性が低下し、転倒をきたしやすくなります。よって、より安定した歩行を得るため歩行補助具の使用をお勧めします。

歩行補助具の有無や種類によって、身体を支える筋肉の負担率・安定性は下図のように変化します。また歩行補助具の高さ調節ですが、腕をまっすぐに下ろした位置から肘を15度程度に軽く曲げてつかめる高さが杖、45度程度に曲げてつかめる高さがシルバーカーの最適な高さと言われています。
※姿勢によっても適正な高さは変わりますので、理学療法士等専門のスタッフにご相談ください。



次回はその他の歩行補助具の種類や高さ調整方法についてお伝えします。

こもれびトピックス



小金井リハビリテーション病院のアレコレ。

リコーダーコンサート

平成26年7月10日

近隣の小金井南小学校6年3組の生徒達による、リコーダーコンサートが行われました。

懐かしい音色に、患者様もとても癒された様子でした。最後には全員で「ふるさと」を合唱し、「茶摘み」のリズム手遊びをして大変盛り上がりました。

今後も、地域との繋がりを大切にし、患者様に喜ばれるようなイベントを実施してまいります。



関東学術研究発表会

平成26年9月27日

関連施設の八千代リハビリテーション学院にて開催された、第4回関東学術研究発表会に参加させて頂きました。数多くの病院からたくさんの興味深い研究発表を聞くことができ、とても充実した1日となりました。

また、今回当院から参加した看護部門、リハビリ部門より2演題が銅賞を受賞いたしました。

今回の研究成果を業務に活かし、より良い医療を提供出来るよう邁進していきます。



院内旅行

平成26年10月4日

当院での院内旅行が10月より始まりました。早朝バスで病院から房総へ出発し、海ほたるを經由して海鮮食べ放題へ向かいました。ホタテやサザエなどを七輪で焼き、乗せ放題海鮮丼を頬張り、海の幸を満喫。その後は1時間程度山登りをし、普段関われない他部署の方ともリラックスして関わることができ、とても有意義な時間でした。



特別食

当院では、8月より個室にご入院されている方(食事制限のない患者様)を対象に特別食を提供しております。写真はある日の献立で、コンソメスープ、フィレステーキ、トマトサラダ、フルーツ盛り合わせです。味付けだけではなく、盛り付けにもこだわり、視覚的にも楽しむ事が出来ます。また、この食事で594カロリーと健康にも配慮しております。

患者様からも『レストランの食事のようだ』『栄養バランスもよく、美味しい』『見た目でも楽しめる』など、お褒めの言葉を頂いております。

今後も患者様に満足頂けるようご意見を頂戴しながら美味しい食事を提供していきます。



医療連携室から

医療連携室には、看護師2名、社会福祉士の資格を持った医療ソーシャルワーカー7名が在籍しております。

患者様やご家族様より入退院に関わるご相談をお伺いし、解決に向けてお手伝いいたします。
必要に応じて介護保険などの社会保障制度や、施設・福祉サービスなどの社会資源の情報提供を行い、入院中の生活や退院後の生活について一緒に考えます。

ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

※ご利用、ご相談は無料です。また、ご相談内容についての秘密は厳守します。

相談窓口：1階受付

受付時間：9:00～16:30（月曜日～金曜日） 9:00～12:00（土曜日）



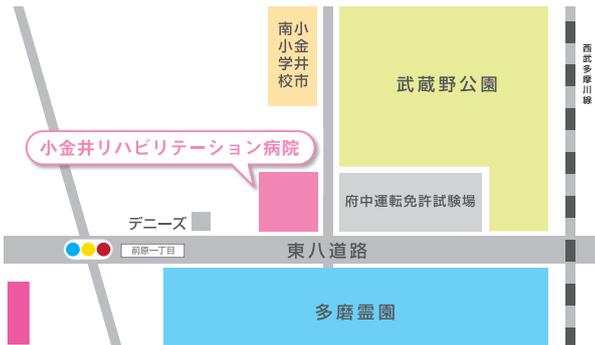
小金井リハビリテーション病院 医療連携室 **TEL 042-316-3100 / FAX 042-316-3222**

小金井リハビリテーション病院 周辺のご紹介

for koganei city

新小金井街道沿いにある、ネパール料理のお店「キャラバンダイニング」をご紹介します。店主のクリシュナさんはじめ、スタッフの方々は大変気さくでフレンドリーです。料理に必要な材料はわざわざ輸入して仕込むというこだわりぶりです。注文を受けてから焼き上げるナン、10

Access map



数種類あるカレーをはじめ、フォーやナシゴレン、生春巻き、ケバブなどなど、カレー以外の料理も充実しています。

特に、バジルチーズナンがおすすめで、チーズがたっぷり入っていて塩加減も日本人好みに調節されているので、ビールが進みます♪このあたりで唯一、本格的な多国籍料理が食べられるお店だと思います。ぜひ行ってみてください！



東京都小金井市貫井南町2-1-22
ウイスタリア 1F
営業時間 11:00～23:00
☎042-316-6588

一般社団法人 巨樹の会

小金井リハビリテーション病院

〒184-0013 東京都小金井市前原町1丁目3番2号

TEL 042-316-3561 FAX 042-316-3562

<http://www.koganei-rh.net/> info@koganei-rh.net

小金井リハビリテーション病院

検索

巨樹の会グループ(14病院)最大の許可病床数303床!!

原宿リハビリテーション病院

平成27年4月1日開設予定

お問い合わせ先 原宿リハビリテーション病院開設準備室

東京都渋谷区神宮前6-26-1

<http://www.harajuku-reha.com>

電話 03-3486-8333(直通)

E-mail info@harajuku-reha.com

原宿リハビリテーション病院

検索



一般社団法人 巨樹の会
原宿リハビリテーション病院